

第2次千葉市文化芸術振興計画 1次評価シート

基本施策名	基本施策5_文化芸術によって千葉の魅力を「活かす」			
	(1)魅力ある資源の活用			
事業名	第4回いなげ八景水彩画コンクール作品展			
実施主体	指定管理者	(名称) 公益財団法人 千葉市教育振興財団 千葉市民ギャラリー・いなげ		
市との関わり	その他	指定管理者		
市担当課	文化振興課		(連絡先)	(内)

事業概要	開始年度	平成29年度			
	事業費	(予算) 市：	その他：936千円	(決算) 市：	その他：886千円
	内 容	いなげ八景（稲毛の名所）を題材とした水彩画を市民に公募し、入選以上の作品を展示する。小学生と中学生を対象とした小中学生部門と、高校生以上を対象とした一般部門とがある。			
	目 的	「いなげ八景」（稲毛の名所）を題材として絵画表現することで、市民が芸術表現に親しみながら地域の魅力を発見する機会を提供する。			
	目 標	(数値) 出品数80点 来場者700人	(昨年度)出品数72点 来場者数903人		
	ねらい	(対象)小学生～一般			
		(求める効果)			
		・埋立前は景勝地であった稲毛の面影を残す「いなげ八景」の中から題材を選ぶことで、地域の魅力に触れる機会を創出する。 ・自由な表現を楽しみながら水彩画を描くことで、文化芸術を身近に感じる機会とする。 ・作品展を開催することにより地域の魅力を多くの市民に発信するとともに、幅広い年齢層の市民が互いに刺激を受け、創作への意欲の向上と芸術に親しむ機会とする。			
実績	(アプローチ方法)				
	・描く対象を「いなげ八景」の中から選ぶようにする。「いなげ八景」は2014年から2016年まで6回開催された「いなげお話し会」（講師西川明先生）で選定されたもの。「いなげ八景」は「千葉市都市文化賞2017～千葉の魅力ある景観と建築のために～」の景観街づくり部門で優秀賞を受賞しており、「いなげ八景散策マップ」を近隣施設や学校等に配布し周知に努めた。小中学生部門では、稲毛のお気に入りの風景も描く対象に加えた。 ・できるだけ自由に表現できるように画材を幅広く使えるようにし、小中学生部門では用紙サイズの選択肢を広げた。 ・作品展では特別賞受賞作品に審査員の講評を添付し、鑑賞の充実を図るとともに、創作活動の参考になるようにした。 ・稲毛公民館との連携事業「水彩画教室～いなげ八景を描く～」では、「いなげ八景」を巡りながら題材選びをするとともに、完成作品を「いなげ八景水彩画コンクール」に出品するよう呼びかけた。（令和元：出品8人）令和2年度はコロナのため中止。				
情報発信	・作品応募期間 2020年6月2日（火）～11月1日（日） ギャラリー窓口にて - 応募点数 小中学生部門：43点、一般部門：50点 ・作品審査 11月5日（木） 審査員3人（洋画家・美術家・地域代表） - 各部門それぞれ 市長賞1・理事長賞1・稲毛賞1・ギャラリーいなげ賞6・他入選 ・表彰式 11月14日（土） 参加：特別賞6人（市長賞・理事長賞・稲毛賞） ・展覧会 開催期間：令和2年11月14日（土）～11月29日（日） 会場：千葉市民ギャラリー・いなげ - 展示点数 小中学生部門：43点、一般部門：50点 - 観覧数 826人				
	■ 市政だより ■ H P ■ ポスター・チラシ ■ フェイスブック・ツイッター ■ その他（利用者への声かけ）				

【評価指標】 4：妥当、3：ほぼ妥当、2：工夫により改善、1：見直し

1	基本 施策 との 適合	(1) 妥 当 性	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☒ 4	(評価の理由) ・かつて稲毛は遠浅の海辺が広がる風光明媚な場所であり、避暑地として別荘が立ち並び、夏は潮干狩りや海水浴でにぎわい、地域の人々は半農半漁の生活を営んでいた。特に海辺の面影を残す場所を「いなげ八景」と名付けている。当コンクール展はそのような地域の歴史的資源を描く対象とした水彩画制作と作品展を通して、地域の魅力に触れることを目的としている。事業の目的は基本施策5（1）①の地域・歴史的資源等の千葉市に由来する文化の発掘・活用に合致すると考えられる。
		(2) 達 成 度	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) ・第1回目からコンクール展への応募者が着実に増えているとともに、観覧数も目標値を上回っている。 ・今回はこれまで出品がほとんど見られなかった、「稲毛海岸帰帆」（千葉トヨペット本社）や「白砂落雁」（稲毛海岸の砂浜）などの応募が見られ、「いなげ八景」のなかで描く対象の偏りが少なくなった。地域の様々な場所の魅力の発見につながっている。
		(3) 波 及	☒	(評価の内容) ・千葉市出身の画家、美術家、地域代表を審査員に招いていることで「基本施策5（2）」の魅力ある人材の活用にもつながっている。 ・作品の優劣をつけることよりも絵画制作を楽しんでもらうことに主眼を置いており、出品数も増加傾向にある。観覧者も多く市民が気軽に文化に触れる機会となっており、基本施策1文化芸術に親しむ市民の裾野を広げることができたと考えられる。
2	戦 略 的 な 視 点 ・ 基 本 姿 勢 と の 適 合	(1) 市 民 主 体	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) ・市民が身近に感じている地域の中から対象を選び絵画制作をしており、市民主体の活動といえる。さらに、地域の魅力を発見することで地域愛につながればと思っている。 ・また、コンクール展を開催することで、さらに多くの市民に地域の魅力を発見する機会を提供することができる。
		(2) こ ど も ・ 若 者	☐ 1 ☒ 2 ☐ 3 ☐ 4	(評価の理由) ・第2回より小中学生部門を設け、近隣の小中学生に参加を呼び掛けている。例年近隣の中学校美術部より応募があるが、今回は近隣の高校より初めて応募があった。 ・近隣の小中学校を通して、子どもたちに応募チラシを配布しているが、個人的な応募が7人と少ない。
		(3) 領 域 の 広 が り	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) ・同時開催として、ギャラリー隣の旧神谷伝兵衛稲毛別荘にて、「洋館で聴く海辺の音楽」と題してピアノとヴァイオリンの演奏の上映を行った。海辺に因んだ曲を選定し、海辺の町だった稲毛に因んだものとした。演奏者は2人とも地域在住または在勤である。

3 事業のねらい	(1) 妥当性	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) ・小中学生部門と一般部門とに分け、小学校低学年から80歳近いお年寄りまで広い層の応募ができるようにしている。 ・地域の歴史や良さを知らない地域住民が増える中、身近な場所を描くことで地域の良さを知る機会を作る場となっている。
		(評価に関連する数値等)	
	(2) アプローチ	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) ・地域の魅力を周知するワードとして「いなげ八景」を題したコンクールとしている。 ・描写技術に優れ上手い絵に主眼をおいた展覧会ではなく、地域への思いをもとに描くことを楽しめる作品展になるよう審査でも考慮している。 ・当ギャラリー主催のスケッチ会参加者にも応募を呼びかけ、数時間のスケッチのような作品でも気軽に出品できるようにしている。
		(評価に関連する数値等)	
4 市民との関わり	(1) 満足度	☐ 1 ☒ 2 ☐ 3 ☐ 4	(評価の理由) ・今回は第4回目であるが第1回目より年々出品点数が増加している。また、リピーターも多く、創作及び発表の機会となっている。 ・コンクール展の参観者数が高い水準で推移している。 ・市民の満足度を図るアンケート等を実施していなかったため、今後検討していきたい。
		(評価に関連する数値等) ・参観者 H29:2368人 H30:1756人 R元:1827人 R2:826人 ・11月のアンケートより「初めていなげ八景を見に来ました。とても見応えがありました。」	
	(2) 周知度	☐ 1 ☒ 2 ☐ 3 ☐ 4	(評価の理由) ・HP、市政だより(コンクール展について)、近隣公共施設や近隣小中学校へのチラシ配布で当事業の周知を図った。また、当館利用絵画サークルへのチラシ配布や出品について利用者への声掛けもできるだけ行った。 ・「いなげ八景」に関連する事業としては、「いなげ八景音声ガイドツアー&ランチ」や「いなげ八景」の景勝地になっている旧神谷伝兵衛稲毛別荘や千葉市ゆかりの家、松林を題材とした「スケッチ会」を実施した。しかし、「いなげ八景」の認知度はまだ低いようである。 ・いなげの名所として「いなげ八景」の意味は小学生には難しそうである。
		(評価に関連する数値等)	

5 効 果	(1) 活 動 の 活 性 化	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) ・コンクール展初日に併せて開催した表彰式では、西川明先生から「いなげ八景」の説明をしてもらい地域の魅力を再認識する場となった。また、コンクール展では特別賞について講評を添付した。作品の良さを味わったり、創作意欲の喚起につなげたい。 ・入選者以上の作品を展示することにより、多くの市民に「いなげ八景」を通して地域の魅力を発見してもらう機会となった。 ・「いなげ八景音声ガイドツアー＆ランチ」や稲毛公民館との連携「水彩画教室～いなげ八景を描く」を開催し「いなげ八景」の周知につなげた。 ・「いなげ八景水彩画コンクール」の参加者が、稲毛の海辺の歴史に興味を持ち、埋立前の稲毛の写真を持している近隣店舗の情報を当館に提供した。
		(評価に関連する数値等)	
	(2) 費 用 対 効 果	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) ・コンクール展出品者数や観覧者数から見て費用に対する効果はほぼ満足のいくものと思われる。 ・出品票の作品説明欄には描く対象への思いが多くの作品に書かれており、地域の歴史的資源の発見に寄与できた。 ・市民の満足度を図るアンケート等を実施していなかったもので、実態に合ったものを検討していきたい。
	(3) そ の 他 の 効 果		(評価の内容) ※上記(1)(2)以外の効果があった場合のみ記載（地域活性化等なんでも可）
		(評価に関連する数値等)	